

月刊 同友 やまがた

山形県中小企業家同友会 2020 新春交流会



山形県中小企業家同友会

同友会の三つの目的

1. 同友会は、ひろく会員の経験と知識を交流して企業の自主的近代化と協力的経営体質をつくることをめざします。
2. 同友会は、中小企業が自主的な努力によって、相互に資質を高め、知識を吸収し、これからの経営者に要求される総合的な能力を身につけることをめざします。
3. 同友会は、他の中小企業団体とも提携して、中小企業をとりまく社会・経済・政治的な環境を改善し、中小企業の経営を守り安定させ、日本経済の自主的・平和的な発展をめざします。

演題
「働きがいも経済成長も！全ては風土改革から始まる」

講師
SANSLOW GROUP 代表 西岡徹人氏



2020新春交流会

(左から)副実行委員長・大久保徳朗氏、副実行委員長・林一清氏、
講師・西岡徹人氏、実行委員長・石川晴久氏、副実行委員長・吉田昌永氏



よい会社 よい経営者 よい経営環境をめざす
中小企業経営者の全国組織

2019年度スローガン

備えよう、次のステージへ

～ポスト2020年～

働きがいも経済成長も！全ては風土改革から始まる SDGsの取り組みで持続可能な社会をめざして



1月28日、新年の幕開け行事となる「2020新春交流会」が、米沢市のグランドホクヨウに於いて開かれました。今回は、初めてとなる置賜地区での開催となり、置賜支部幹事会を中心とした実行委員会

で準備を進めて迎えた当日、会場には来賓の方々も含め総勢150名以上が集い、学びと交流を深めました。

記念講演では「働きがいも経済成長も！全ては風土改革から始まる～SDGsの取り組みで持続可能な社会をめざして～」と題して、SUNSHOW GROUP 代表 西岡徹人氏が、自社の経営実践を語りました。

西岡氏は1999年に西岡工業を創業し、2006年に三承工業(株)を設立。最初は草刈りなどの小さな仕事から始まり、2010年には建築業に本格的に参入しました。低価格帯住宅「SUNSHOW夢ハウス」をはじめとした、社会の声にこたえた家づくりを展開しています。しかし当初は「儲かればいい」と考えて怒りで社内を統制するやり方を進めた結果、会社の体質はブラック企業化。改善の取り組みも進めませんが、すでに社員が主体性を持ってない風土になっていたため芽が出ません。しかし、自身の過労を機に本格的な改革を決意します。社内の意見を聞き取ると社長への不満が噴出しましたが、そこで「社員さんと、その家族まで幸せにして見せる」と覚悟を決めました。

ある女性社員にお子さんが生まれた時、自身の決意・ビジョンを伝え話し合ったことで、子連れ出勤がスタートしました。この件が転機となり、この女性社員と共に企業改革に乗り出しました。子連れ出勤制度「カンガルー出勤」の実施から始まり、女性社員、男性社員の奥様、女性のお客様などにより「チーム夢子」を結成。チームメンバー

が主体となり、ノー残業デーを家族の理解も得ながら実施したり、現場にも女性トイレを設置するなどの取り組みを進めました。西岡氏自身が認知・承認・権限移譲を徹底したことでこれらの取り組みが成果を出し、社員それぞれが輝ける風土が生まれ、家づくりにも女性目線、育児目線が取り入れられるようになりました。今では業界では異例となる、女性社員率53%、ジェンダーレスに活躍できる組織ができています。

そして、自社の風土改革やビジネスモデル構築にSDGs(2015年国連サミット採択の「持続可能な開発目標」)の考え方を導入。「1. 貧困をなくそう」「5. ジェンダー平等を実現しよう」をはじめとした各項目に、「SUNSHOW夢ハウス」「カンガルー出勤」などの自社の取り組みを対応させました。それにより価値観の共有が進み、モチベーション向上等の成果が現れました。2018年、外務省第2回ジャパンSDGsアワードの特別賞を受賞しています。

西岡氏は最後に「SDGsとはつまり『自分さえ良ければ』を無くすということ。社会課題をビジネスで解決できる人と企業を増やし、誰もが活躍できる企業と社会をつくっていきたい。そのためには当事者意識を持ち、未来のために貢献できる人を育てていかなければならない。そのためにはSDGsのNo.17『パートナーシップで目標を達成しよう』が大切」と語りました。

引き続き行われたグループ討論では、「変化の時代、あなたの会社はどの項目を取り組みますか？」をテーマに話し合わせ、自社の既存事業をSDGsにマッピングするワークも行いながら、自社の課題と可能性を探りました。懇親会では、石川実行委員長の挨拶の後、新春を祝って「やまがた愛の武将隊」の演武が行われ、勝鬨の音が会場に響きわたりました。

若者が働きやすい企業づくりを進め、 地域で若者を育て定着させよう！



2月6日、山形テルサを会場に「就職担当者との就職懇談会」が開かれ、県内外の大学・短大・専門学校就職担当者10校12名と同友会の会員と採用担当者31名の計43名が参加しました。

開会にあたり佐藤委員長は「企業側の採用活動は、経団連が就職協定を廃止した影響で、戸惑う部分が多くあり、学校側と情報を共有しながら取り組みを考えていきたい。また、今日は会員企業の経営者と社員から、採用と教育について実践報告をいただき、同友会企業で働く魅力について知ってもらいたいと思います」と挨拶しました。

実践報告として、新卒採用に取り組んでいる会員企業の(株)アイン企画と(株)大久保硝子店の2社より、採用と教育について報告がありました。

はじめに、(株)アイン企画 専務取締役 小林伸太郎氏と3年目社員の樋渡宏太氏が報告しました。

小林氏からは、採用の取り組みとして、2019年度は多くの学生に出会うことに注力し、同友会をはじめとする合同企業説明会に6回参加、単独の会社説明会を7回開催し、約100名の学生と接触し、1次選考に24名、最終的に2名の採用につながったと報告がありました。会社説明会での工夫として、若手社員の経験談の時間を長く設け、入社後の仕事のイメージをより分かりやすく伝えていくと紹介しました。

定着への取り組みとしては、社員が自ら成長できるようになることを目的に成長支援制度を導入しています。制度の特徴として①成長の内容や基準が明確②社員の成長は組織(複数の上司)で確認する③成長結果をフィードバック(3ヶ月に1回の個人面談)、をあげ「3か月サイクルでの目標設定で着実な目標達成を重ねることで、その後の大きな成長につながっている。フィードバックの場があると、上司は部下の状況を把握でき、部下は上司に悩みを相談できるなど、対話の機会となりお互いに教え合う雰囲気になってきた」と効果について語りました。

樋渡氏は、自分のやりたい広告・出版の仕事ができる事、山形に貢献できる仕事である事、営業職への不安に対して、選考の中で「営業はチームで目標を達成することを

目指し、サポート体制がしっかりしている」と伝えられ、営業職に対する不安が払しょくされた事が入社を決めたポイントと話しました。

同社で働く魅力として「経営陣との距離が近く、困ったらすぐに相談できる雰囲気がある。入社後すぐ自分の役割を与えてもらい、会社からの信頼を感じた。また、成長支援制度があり、定期的に自分を振り返ることができ、成長を実感できることにやりがいを感じている」と報告しました。

続いて、(株)大久保硝子店 代表取締役副社長 大久保徳朗氏と1年目社員の加藤美緒氏より報告がありました。

大久保氏は、同友会での学びから経営指針に採用と教育についての方針を入れ、会社全体で取り組みを進めました。これまでは合同企業説明会に参加しても学生に来てもらえない状況だったものの、社内で説明の仕方やブースの見せ方について考え合うなど、これまでの大久保氏一人だけの採用活動から全社員が採用担当者として関わる組織での採用活動へと変えていき、合同企業説明会、会社見学への学生の参加が増加し、2019年は2名の採用につながりました。

教育については、「共に成長しよう」を会社方針に掲げ、インターンシップの受け入れ、国家資格取得のための社内勉強会など、お互いに教え合う仕組みをつくります。また、賃金規定、就業規則の見直しを行い、今の時代に沿った労働環境整備にも取り組みました。大久保氏は「新入社員が不安にならないように、入社前・入社後のフォローを心掛け、2018年以降新卒の離職は0名になった。会社全体としてお互いに教え合う雰囲気が出来たことがよかった」と取り組みの成果について話しました。

加藤氏は、学生時代に勉強したことを仕事にしたいと考え、ガーデン事業部が新しく立ち上がった年に庭設計士として入社。合同企業説明会で大久保副社長の人柄に惹かれ興味を持ち、会社見学で同社のアットホームな社風を感じたことが入社決め手となりました。

入社後感じたこととして「入社前に感じた通りアットホームな雰囲気人間関係ではほとんど悩みがなかった。仕事の面では、やりたいことをやらせてもらえ、自分からの要望にも応えてもらえる風土がある」と同社の魅力を語りました。

その後、グループ討論と名刺交換会が行われ、学校と企業の立場から若者の採用と育成について意見交換し、若者が働きやすい企業づくりを進め、学校と企業が連携を深め企業の魅力を発信していくことの重要性を確認しました。

酒田地区会で一緒に学んで地域をつくろう



山形同友会では、庄内支部に酒田地区会を設立しようと準備会例会を開催しています。2月20日に酒田市公益研修センターに於いて開かれた例会には20名が参加。同友会についてコンパクトにまとめた動画の上映後、実践報告とグループ討論が行われ、会社や地域について熱く語り合いました。

報告に立ったのは2010年に「経営指針をつくりたい」と入会した(有)寝装こでら小寺祐也社長。「市場激変の時代、コト売りの深化へ挑戦中」と題して、自らの経営体験を報告しました。

寝具小売業の(有)寝装こでは、創業者である小寺氏の父親が羽毛布団の訪問販売で業績を伸ばしてきました。後継者である小寺氏も「モノを売る」ことに力を入れてきましたが、先代が他界し社長に就任した2006年から悩むようになったと言います。

販売チャンネルが大手チェーン店や通販・ネット販売に変わってくる中、既存客への依存度が高い業界では、イベントや展示会を企画して布団だけではなく呉服や宝石など、品物を代えて販売をしていました。

当時の同社は訪問販売5割、カウンセリングによるオーダーメイド枕が3割、エステ部門が2割の売上構成でした。小寺氏はカウンセリングを柱にやっていきたいと、経営革新の認定を受け睡眠を売る店として「睡眠屋こでら」をオープン。しかし、社員には伝わらず一方通行でうまくいきません。そこで、数字だけではなく社員と思いで繋がるために「経営理念をつくろう」と同友会に入会します。

同友会の経営指針づくりでは、「何のための経営なのか」「あなたにとっての社員とは」と聞かれても答えられず、「睡眠屋なのに事業領域は布団屋」で本質が分かっていなかったと振り返りました。経営指針づくりをとおして多く

のことを学び、理念・方針、計画を一冊にまとめた経営指針書ができたことで、方向性が明確になり、社員と学び合いながら取り組むことができました。

また睡眠屋になるために主力の訪問販売をやめ、エステ部門も分社することを決断。お客様に来店していただくため、睡眠屋がさらに強みを深化させるためにはどうするかを社員と一緒に考え、「逃げる(想いの継承・意欲の育み)」「寄り添う(お客さまのお悩み解決)」をポイントとし、市場の見直しとお客様の繋がり方の二点に絞って取り組んでいることを紹介しました。

そして、販売チャンネルの変化、人口減少により地域の市場規模が縮小する中で地域外市場を開拓していかなければならないという方針のもと、オンラインショップとホームページを運営。ネットでの売上比率は30%になったことを紹介し、人口減少社会における「地域密着」の課題を提起しました。

引き続き行われたグループ討論では、「現在の課題と将来の展望」をテーマに語り合い、経営指針や販売戦略などについて意見を交わしました。

最後に準備会会長の酒田米菓(株)佐藤栄司社長が「同友会歴は浅いが今年から理事になり、いろいろな人と出会って考え方を学ぶことができた。ある方から『経営者が学ばないから酒田の発展がなかった』と言われました。私の会社の七つの行動指針の一つに『常に学び続ける集団である。好奇心から学び、視野思考が広がり、挑戦行動が繰り返され、成果に繋がる。知ると知らないでは雲泥の差がある。学ぶから成長発展がある』というのがあります。皆さん、この会で一緒に学んで地域をつくっていきましょう」と締めくくりました。



山形支部

「遊びのように仕事をし、仕事のように遊ぶ」 老舗の戦略から学ぶ自社の生き残り戦略

2020.3.10(火) 18:30~21:00

場所: 山形テルサ 2階 リハーサル室
山形市双葉町1-2-3 ☎023-646-6677

講師: (株)水戸部酒造 代表取締役 水戸部朝信氏

一部上場会社に就職し戻るともりがなかった家業。しかし父からの会社の経営の内情の知らせをもらい山形へ。山形に戻ってからは、原料である米作り・酒の作り方・杜氏のあり方を大幅に改革。しかしながら、前例や慣習による大きな軋轢も経験して、自分なりに描いた理想と現実を肌で感じる。歴史と伝統ある日本酒業界において、マーケティングやコストという視点はもちろんだが、自社製品の強みをより際立たせ、選択と集中により旧態依然とした現状が変わるようになった。更には新しいコラボ商品を生み出したり、プロパー品以外でのブランディングも成功。独自の事業承継をされた老舗の敏腕社長が、数々の成功と失敗を赤裸々に語ります。

さくらんぼ支部

KOE no KURA ～OH!意思DA!～

2020.3.17(火) 18:30~21:00

場所: まなびあテラス 講座室
東根市中央南1-7-3

報告者: 大石田町地域おこし協力隊 香坂 明氏、遠藤舞子氏

初代大石田町地域おこし協力隊として3年間奮闘してきたお二人に「地域」について話していただきます。

KOE no KURA は「大石田とソトの、ヒト・モノ・コトが交流する場所」というコンセプトで、お二人が作った大石田町の出城。「小さな地域だからこそ、ソトとの交流が新たな発見を生む」という想いが込められています。KOE no KURA に2年間で集まった声(17,575名)を、今度はソトだったお二人がナカの声として、北村山地域での体験、経験、想い、願い、未来を語っていただきます。

私たちは地元企業として地域とは切っても切り離せない関係。地域おこし協力隊の声を聞くことにより地域を再認識し自分の在り方、企業の在り方、気づき、ヒントがある時間になるでしょう。

庄内支部

同友会を知る会in酒田 ～同友会の学びが会社を変える!～

2020.3.27(金) 19:00~21:00

場所: 酒田市勤労者福祉センター 第2・3研修室
酒田市緑町19-10 ☎0234-26-2644

報告者: (株)ティスコ運輸 代表取締役 菅原茂秋氏(代表理事)

庄内支部 3月例会は酒田市内で開催です! 2020年度の酒田地区設立に向け、同友会は何ができる団体なのか、どのように経営課題改善に繋げられるのかを知る例会を開催いたします。

講師には菅原代表理事を迎え、同友会の全体像を知るとともに、同友会を自社にどう活用して成果を上げたかの報告をいただきます。新会員さんは同友会で何を学ぶか・どう活かすかを知り、ベテランの会員の方は更に深めるきっかけになればと思います。また、「同友会ってどうゆう会?」とお思いのゲストの方も大歓迎! お誘いあわせのうえ是非ご参加ください!

寒河江支部

同友会を知る会 ～同友会の活かし方とビジョンを語る～

2020.3.4(木) 19:00~20:40

場所: 寒河江市技術交流プラザ
寒河江市中央工業団地153-1 ☎0237-86-1991

報告者: (株)ティスコ運輸 代表取締役 菅原茂秋氏(代表理事)

今回の例会は「同友会を知る会」です。同友会をどのように活用していくか、これからどんな同友会になっていくのかを知るチャンスです!

講師には菅原代表理事を迎え、同友会を自社にどう活用して成果を上げたかの報告とともに、発展を続ける山形同友会の展望をお話しいたできます。新会員さんは同友会で何を学ぶか・どう活かすかを知り、ベテランの会員の方は更に深めるきっかけになればと思います。また、「同友会ってどうゆう会?」とお思いのゲストの方も大歓迎! お誘いあわせのうえ是非ご参加ください!

置賜支部

いつまで、その競争するんですか?

2020.3.16(月) 18:30~21:00

場所: アクティー米沢
米沢市西大通1-1-5

報告者: (株)ライフ総合研究所 専務取締役 林一清氏
(株)ライフモチベーション 代表取締役 林一清氏

茨城県水戸市に本店があり、群馬、いわき、米沢、ハワイに営業拠点がある(株)ライフ総合研究所は顧客基準の理念経営を掲げ、お客様の視点に立った提案を大切にしてきました。

製造業、流通業、金融業を経験してきた林氏は、様々なお客様との出会いと沢山の学びを活かし経営に生かせる保険設計と経営者のカウンセリングを行っています。また、企業や学校からの依頼で、心理学技法をベースとしたセミナーや講演会を展開しています。

置賜支部3月例会では、よりお客様のニーズに応えるため、今年新たに『(株)ライフモチベーション』を設立する林氏より、今まで経験した業界の裏側や、多くの顧問先から学んでこられたこと、これからの組織づくりに関立つヒントについてお話ししていただきます。お誘いあわせの上、是非ご参加ください。

新庄最上支部

「経営指針をつくる会」を修了して ～抱負、そしてこれからの地域に必要なもの～

2020.3.12(木) 18:30~21:00

場所: 新庄市民プラザ 第3ギャラリー
新庄市大手町1-60 ☎0233-22-4200

報告者: コウ・アーユス(株) 代表取締役 野尻直樹氏

野尻氏は2017年にコウ・アーユス(株)を創業。最上郡を中心に訪問看護サービスなどの事業を展開してきました。地域医療を取り巻く環境が変化している中で、ニーズにこたえるべく奮闘中です。また、創業間もなく同友会にも入会。同友会の学びと共に創業期を突き進んできました。

そして2019年「第24期経営指針をつくる会」に参加。悩みぬきながらも自身、自社、地域に向き合い経営指針書を成文化しました。

今回は、指針づくりの気づき、見てきた自社の未来について、野尻氏から率直にご報告いただきます。ぜひ、お誘いあわせの上ご参加ください!

第10回理事会報告

◆日時: 2020年2月12日(水)午後3時～午後5時 ◆会場: 山形同友会事務局 ◆議長: 後藤副代表理事
◆出席者: (敬称略) 西塔、川合、菅原、後藤、志田、赤塚、阿部、石川、伊藤、大泉、大久保、小川、齊加、佐藤(洋)、佐藤(栄)、庄司、武内、田中、服部、松岡、八代、事務局 矢作、後藤、芳賀

■開会挨拶

菅原代表理事が「コロナウイルス問題の影響、県内では大沼の破産など、不安定な情勢の中で、地に足の着いた経営を求められている。労使見解に基づいた経営を広めていく必要があり、同友会の役割が求められている。これからは長期的かつ組織的な活性化が急務である。新春交流会では、SDGsの重要性、中小企業も社会的課題に目を向けて取り組むべきだ」という実感が得られた。同友会活動はSDGsそのものという理解をされた方も多と思う。取り組みを進めていくためにも、次年度に向けて忌憚なき意見をいただきたい」と述べました。

■報告事項

1) 1月度月次報告

矢作事務局長から1月度の活動の特徴について、資料を基に報告がありました。

2) 中同協新春幹事会報告1/10～11東京 3名参加

菅原代表理事から、事務局労働実態調査報告ではまだまだ環境整備の必要があること、5万名達成に向けての議題では、6千名の目標を達成した北海道同友会の代表理事より、北海道同友会が大切にしてきた「孤独な経営者を無くそう」の思い、自身が飛び込みで地域の企業を千社訪問して入会に繋げた活動の中で、いろいろな経営者の声が聴けるという楽しさも含めて企業訪問は重要だというお話があり、行動力に感銘を受けたと報告しました。

3) 北海道・東北ブロック代表者会議1/11東京 3名参加

菅原代表理事が東北青年経営者フォーラム中止の件で5万円負担を承認したこと、中同協副会長候補にもなる、東北ブロック代表には福島同友会の藤田氏が推薦されたこと、来年の中同協・北海道東北ブロック支部長地区会長交流会が宮城で開催される予定で、多くの方に参加していただきたいと報告しました。

4) 中同協第2回経営労働委員会報告1/29～30東京 2名参加

小川理事が経営指針実践運動の各地域の活動について話し合ったこと、最低賃金、36協定などに関する報告とグループ討論が行われ、「働く環境づくりの手引き」に基づいた学びができていくか、働き方改革への対応なども話題となり、今後の中小企業が労働者・雇員をどう考え、労務管理を行うかが話し合われ、また世界基準における日本の最低賃金についての報告もあり、世界との差について向き合う機会となったと報告しました。

5) 中同協第2回共同求人委員会報告1/30東京 1名参加 (文書報告)

6) 2020新春交流会の報告

石川理事から参加者集計の報告と目標達成についてのお礼があり、まとめと収支報告は、最終の実行委員会を経て次回理事会に提案すると報告がありました。また、副実行委員長の久保理事から、(株)三承工業にお礼を兼ねた企業訪問を行ったことが報告されました。

7) 事務局員採用についての中間報告

矢作事務局長より、応募状況と、常任理事会で書類選考を経て面接を行う予定であると報告がありました。

8) 2019年度1月度月次報告

矢作事務局長から月次決算報告がありました。

■承認事項(入・退会承認) 3名入会 2/12現在425名

■討議事項

議題1: 組織目標達成に向けて

菅原代表理事が組織委員会の報告として、会員数が純増傾向にあり、各自が入会申込書を持参して入会検討中の方にその場で申込書を記入してもらうように積極的な働きかけをしようと申し合わせたこと、また経営指針委員会より企業変革支援プログラムの登録依頼、女性部より女性活躍推進に関する方針を盛り込めないかとの提案があったことを挙げました。

酒田地区会設立に向けての準備状況については、今後2月20日に準備会例会、3/27に庄内支部例会を酒田で開き、4月に設立祝賀会を行う予定で進めてい

ると報告があり、ゲスト参加者の紹介をはじめとした協力依頼がありました。また今年度は中同協5万名達成ということから3月末日まで入会承認を行うことが提案され承認されました。

議題2: 2020年度議案書作成について

川合代表理事から2019年度活動のまとめ(案)と2020年度活動方針(案)の提案があり、2月28日までに意見等を募ることとなりました。

また、2020年度役員(案)では、全県行事の実行委員長の推薦を各実行委員会より2月28日までに挙げていただくことを確認しました。

議題3: 役員選考委員会について

菅原代表理事より役員選考委員と今後の選出についての進め方について提案があり、承認されました。

議題4: 第36回定時総会について

実行委員長の志田副代表理事より提案があり、下記の開催要項が決まりました。

●日時: 4月21日(火)

●会場: パレスグランデール

●講師: (株)ヒューマンライフ

代表取締役 中山英敬氏(中同協幹事長・福岡同友会相談役理事)

議題5: 第4次中期ビジョン方針について

後藤副代表理事より第4次中期ビジョン作成委員会の経過報告があり、「課題解決への方針」を基に、各組織で中期方針・実行計画(3年)を作成してほしい旨の依頼がありました。事務局より各組織長へ書式をお送りし、記入の上2月28日までに事務局へ返送することとして承認されました。

議題6: 第23回女性経営者全国交流会の参加目標について

赤塚理事から6/18(木)～19(金)に新潟市で開かれる女全交参加目標10名の承認の依頼があり、承認されました。

■その他

1) 委員会より

① 小川委員長より経営指針委員会にて委員会費による広告掲載の提案があり、承認されました。

② 共同求人委員会より、2月18日に山形大学留学生バスツアーの受け入れ依頼があり、(株)サニックス、田宮印刷(株)の2社を見学すること、秋田大学より秋田同友会が共催する地域連携懇談会フォーラム「地域の次世代を育てる産学連携インターンシップ」(仮)に、山形大学松坂准教授と山形同友会の受け入れ企業の報告依頼があったと報告がありました。

第50回中小企業問題全国研究集会	2月13日(木)～14日(金)京都
食農部会視察学習会	2月18日(火)秋田
中同協第2回女性部連絡会	2月26日(水) 飯沼大学あべのハルカスキャンパス
中同協幹事会	3月10日(火)14:00 アルカディア市ヶ谷
合同入社・新入社員研修	4月6日(月)9:00 TISカンファレンスセンター
第1回合同企業説明会	4月9日(木)山形テルサ
酒田地区会設立祝賀会	4月13日(月)
第36回定時総会	4月21日(火)パレスグランデール
第2回合同企業説明会	5月12日(火)山形テルサ

2) 次回理事会

●日時: 3月11日(水) 15:00～17:00 ●会場: 同友会事務局

■開会挨拶

川合代表理事が「経済状況が混とんとしており、各機関からも暗い内容の報告があがっている。ここで『同友会ここにあり』の姿勢を見せ、企業継続を基本とし自社を見つめなおし、百人百様の経営課題を意見交流の中で解決し、良い会社、良い地域を作っていきたいと思います」と述べました。



おおしも てるひさ
◆ 大下 輝久氏

明治安田生命保険相互会社 営業所長
保険業
置賜支部

会員変更

●三條物産(株) 常務取締役

たいら としひろ
◆ 平 利洋氏

ユナイテッドグロー(株) 代表取締役
電気通信工業業
置賜支部

あべ たかひろ
◆ 阿部 孝博氏

(株)幸内設備 代表取締役
空調給排水衛生設備
庄内支部

白田秀和氏(山形支部)

同友やまがた3月号(2020年3月1日発行/通巻324号)



“知り合い、学び合い、援け合い”
山形県中小企業家同友会

〒990-2161 山形県山形市大字漆山字大段1865-5 TISビルディング201
TEL (023) 615-8302 FAX (023) 615-8304
URL: http://yamagata.doyu.jp/ E-mail: info@yamagata-doyu.jp